

令和4年度 事業報告書

(事業年度 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日)



香 蘭

学校法人 山内学園

祈りつゝ育てしまこと

あらわれて

気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長 山内良子先生著

目 次

■法人の概要・設置学校・建学の精神	1～2P
■学園沿革・歴代理事長	3P
■法人の組織構成図	4P
■役員・評議員	5P
・名簿、役員賠償責任保険契約等の状況	
■学生（生徒・園児）・職員現員	6P
■令和4年度事業の概要	7～9P
・卒業制作（短期大学・専門学校）	10P
■香蘭女子短期大学の教育活動	11～19P
①3つのポリシー	
②ディプロマ・ポリシーのアセスメント	
③学生生活満足度調査結果	
■香蘭女子短期大学の研究活動	20P
■令和4年度地域連携取組状況	21～22P
■令和4年度卒業生（短期大学・専門学校）進路状況	23P
■人事について	24～26P
■施設・設備等について	27～28P
■令和4年度決算の概要	29～30P
■資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	
・事業活動収支計算書	31P
■貸借対照表	32P
■その他の財務状況	33P
・有価証券、借入金、学校債、寄附金、補助金 関連当事者等との取引、学校法人間財務取引	
■財産目録	34P
■計算書等経年比較（平成31年度～令和4年度）	35～38P
■経営状況の分析、今後の方針等	39P
■監査報告書	40P

法人の概要



法人名: 学校法人 山内学園 (昭和23年2月 法人設置認可)

理事長: 坂 根 康 秀

所在地: 〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>

設置学校



香蘭女子短期大学

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

学長 坂 根 康 秀

設置学科: ファッション総合学科・食物栄養学科・保育学科・ライフプランニング総合学科
(テクニカル専攻科 1年課程)

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>



香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長 深 田 勝 久

設置学科: ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ファッションビジネス科(2年課程)

電 話: (092)751-1331 FAX: (092)741-0688

H P: <http://koran.jp/>



香蘭女子短期大学附属 香蘭幼稚園

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目12番35号

園長 坂 根 康 秀

定員: 300名 3年保育 2歳児・満3歳児保育 預り保育あり

電 話: (092)571-3441 FAX: (092)513-1813

H P: <http://kourankid.com/>



幼保連携型認定こども園(平成30年4月より移行)
香蘭女子短期大学附属 那珂川第一幼稚園

〒811-1251 那珂川市松木5丁目1番1号

園長 柳 幸 子

定員: 225名 幼稚園部(1号)・保育園部(2号・3号)

電 話: (092)953-1135 FAX: (092)953-3848

H P: <http://www.nakagawadai1.com>



香蘭女子短期大学附属 那珂川第二幼稚園

〒811-1252 那珂川市五郎丸3丁目17番1号

園長 峯 田 功 子

定員: 240名 3年保育 預かり保育あり

電 話: (092)953-0222 FAX: (092)953-0222

H P: <http://www.nakagawadai2.com>

(姉妹法人設置保育園)



社会福祉法人 香蘭育成会 しおばる保育園

〒815-0032 福岡市南区塩原3丁目26番19号

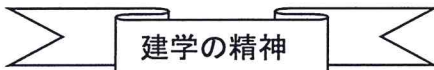
理事長 坂 根 康 秀

園 長 長谷川 明 美

定員 120名

電 話: (092)554-1188 FAX: (092)554-1288

H P: <http://www.shiobaruhoikuen.com>



「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、

人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

学園沿革

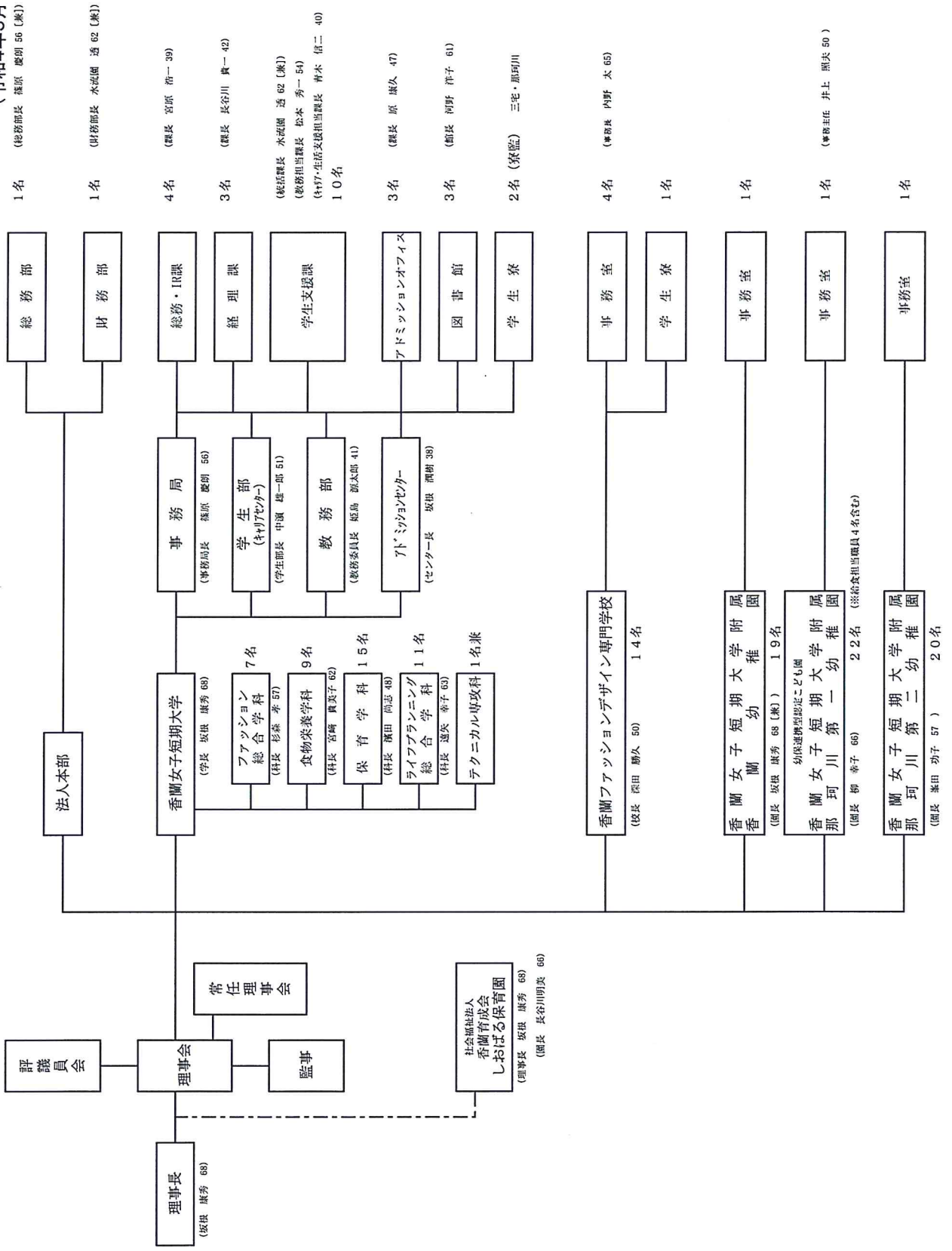
- 昭和 10年 5月 レディードレス香蘭女学院開学
 21年 9月 香蘭女学院設立認可(個人立)
 26年 3月 財団法人レディードレス香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
 33年 1月 学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
 36年 8月 創設者 山内良子逝去
 38年 4月 短期大学に家政科増設(井尻校舎)
 40年 4月 短期大学に保育科増設(井尻校舎)、被服科二部増設(大手門校舎)
 42年 4月 短期大学附属幼稚園(現香蘭幼稚園)開園
 47年 4月 被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
 50年10月 被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
 51年 9月 香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
 58年 4月 短期大学に秘書科増設
 62年 4月 短期大学に国際教養科増設
 63年12月 学)啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
 平成 元年 4月 香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
 10年 8月 専門学校の高等課程を廃止
 11年 4月 香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
 15年 4月 家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
 " 被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
 " 短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
 16年 3月 秘書科、国際教養科廃止
 17年 4月 那珂川第一幼稚園 園舎移転(王塚台から松木)
 18年 4月 附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
 20年 4月 短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
 21年 4月 専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
 22年 4月 短期大学にテクニカル専攻科(1年)を設置
 26年 4月 専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
 30年 4月 那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行

歴代理事長

初代	山内良子	昭和33年 1月 ~ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ~ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ~ 昭和53年 3月
第四代	坂根潔	昭和53年 4月 ~ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ~ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ~ 現在

法人の組織機構図

(令和4年5月1日現在)



役員・評議員

■名簿

令和4年度

区 分	常勤 非常勤	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	選任条項
理事長	常勤	坂 根 康 秀	平成6年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	一 学長
理 事 (定数7)	常勤 副理事長	坂 根 潤 樹	平成30年4月1日		二 評議員会互選
	常勤	水流園 透	平成30年4月1日		三 法人職員・財務部長
	常勤	篠 原 慶 朗	平成30年4月1日		三 法人職員・総務部長
	非常勤	海江田 令 次	平成22年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成26年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	安 田 聡 剛	平成30年4月1日		四 功労者・学識経験者
監 事 (定数2)	非常勤	武 部 道 孝	平成18年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	理事会選任
	非常勤	矢ノ浦 慎 祐	令和4年4月1日		理事会選任
評議員 (定数17)	常勤	坂 根 康 秀	平成2年4月1日	R4. 4. 1～R6. 3. 31	一 香蘭女子短期大学長
	常勤	深 田 勝 久	平成22年4月1日		二 香蘭ファッション校長
	常勤	峯 田 功 子	平成24年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	柳 幸 子	令和2年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	坂 根 潤 樹	平成26年4月1日		四 後継者
	非常勤	牧 山 順 子	令和2年4月1日		五 卒業生
	非常勤	的 野 秀 子	平成22年4月1日		五 卒業生
	非常勤	中 富 美穂子	平成14年4月1日		五 卒業生
	常勤	遠 矢 幸 子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	宮 崎 貴美子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	溝 口 希弥子	平成17年4月1日		六 法人職員
	非常勤	永 野 雅 一	令和2年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	河 野 博 行	平成29年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	豊 崎 俊 幸	令和4年6月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成24年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	秋 峯 良 二	平成28年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 永 哲 二	平成30年4月1日		七 功労者・学識経験者

■役員賠償責任保険契約等の状況

以下のとおりの内容で令和4年7月より契約（令和4年5月の理事会・評議員会にて決定）

①保険契約について

対象：理事、監事、評議員

契約の期間：令和4年7月1日～令和5年7月1日（※更新予定）

商品名：学校法人向け役員賠償責任保険（日本私立短期大学協会：三井住友海上火災保険㈱）

保険料：年間320,000円 保険金：上限：300,000,000円

内容：理事、監事、評議員を被保険者とし、保険料は全額法人が負担。被保険者がその職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金及び争訟費用等が当該保険にて補填される。

②責任免除・責任限定契約、補償契約について

責任免除：学校法人山内学園寄附行為第49条に基づく。

責任限定契約：非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、本法人があらかじめ定めた額と私立学校法で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額のいずれか高い額を限度とする。

補償契約：本法人と役員の間においての補償契約の締結はない。

学生・園児数現員

① 学生生徒現員 ※専攻科学生数は外数、留学生は内数 (R4年5月1日現在:学校基本調査より)

学 校 名 ・ 学 科 課 程 名			令和 3 年度		令和 4 年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学	F A 総合学科	80	61	143	84	147	23	4
	食物栄養学科	80	59	116	40	99	△ 19	△ 17
	保 育 学 科	150	105	228	66	170	△ 39	△ 58
	L P 総合学科	150	132	286	137	269	5	△ 17
	合 計	460	357	773	327	685	△ 30	△ 88
	定員充足率		77.6%	84.0%	71.1%	74.5%	-	-
	テクニカル専攻科	15	11	11	13	13	2	2
専 門 学	留学生(短期含む)		30	70	31	65	1	△ 5
	合 計	160	149	275	132	288	△ 17	13
	(男 子)		39	76	30	72	△ 9	△ 4
香 蘭 幼稚園	[留学生]		0	1	1	1	1	0
	満 3 歳 児 未 満		21	23	16	20	△ 5	△ 3
	3 歳 児	100	66	104	37	77	△ 29	△ 27
	4 歳 児	100	3	90	2	102	△ 1	12
	5 歳 児	100	1	100	2	90	1	△ 10
第 一 幼稚園 (認定こども園)	合 計	300	91	317	57	289	△ 34	△ 28
	1 号	3歳児未満	15	13	13	14	1	2
	1 号	3 歳 児	45	31	46	27	△ 4	△ 5
		4 歳 児	45	2	43	0	△ 2	△ 8
		5 歳 児	45	1	39	1	0	2
	2 号	3 歳 児	15	0	15	1	1	0
	2 号	4 歳 児	15	0	15	0	0	6
		5 歳 児	15	0	17	0	0	1
	3 号	0 歳 児	6	5	5	4	△ 1	△ 1
	3 号	1 歳 児	9	6	12	2	△ 4	△ 1
		2 歳 児	15	3	15	4	1	0
	合 計	225	61	220	53	216	△ 8	△ 4
第 二 幼稚園	3 歳 児	60	67	67	61	61	△ 6	△ 6
	4 歳 児	90	11	94	1	62	△ 10	△ 32
	5 歳 児	90	1	94	0	93	△ 1	△ 1
	合 計	240	79	255	62	216	△ 17	△ 39
総 合 計		1,385	737	1,840	631	1,694	△ 106	△ 146

②専任教職員数

※香蘭幼稚園の未満児及び第一幼稚園の1号未満児は学校基本調査の数とは異なる。

所 属	令和 3 年度			令和 4 年度			増減	備考
	教員数	職員数	合 計	教員数	職員数	合計		
短 期 大 学	43	27	70	42	26	68	△ 2	学生寮含む
専 門 学 校	15	5	20	16	5	21	1	学生寮含む
香 蘭 幼 稚 園	16	1	17	17	1	18	1	園長除く
第 一 幼 稚 園	17	5	22	18	4	22	0	
第 二 幼 稚 園	18	1	19	19	1	20	1	
総 合 計	109	39	148	112	37	149	1	

③しおばる保育園

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	園児合計	教職員 (内パート)
令和 3 年度	120	12	21	24	25	25	26	133	32(15)
令和 4 年度		16	23	25	24	25	25	138	33(15)

R4年度 事業の概要

◆短期大学

1/3

事業項目	
① 私立大学等経常費補助「特別補助」増額のための各種事業応募	改革総合支援事業「タイプ1:『Society5.0』の実現に向けた特色ある教育の展開」「タイプ3:『地域社会への貢献』プラットフォーム型」の2事業を申請。結果、「タイプ1:特色ある教育の展開」は不採択、「タイプ3:プラットフォーム型」については共通設問は採択、個別設問は不採択となった。
② 海外研修の継続実施	新型コロナウイルス感染症の影響で待機期間等の制約が残っていたため、すべて中止とした。
③ 「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケートは継続実施。新型コロナウイルスの影響により、その他具体的な事業は実施されていない。
④ 地域連携センターの活動継続・推進	地域との連携・貢献活動として南区こども大学・南区出前講座大学版、その他一般、高校生等向けの出前講座を実施。コロナの影響は残っていたが、感染対策を講じた上で実施。令和2年度は5講座、令和3年度は20講座程であったが、令和4年度は60講座程開講することができ、コロナ前の水準にほぼ戻った。これとは別に子どもプラザでも10講座程開講した。
⑤ 教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万円。本学学生への教育改革(4領域)に対し経費を支出。令和4年度は5件の申請に対し以下の4件を採択。尾畑准教授申請分:筑後産地「残布」リブランディングプロジェクト、中濱教授申請分:Koran Girlsを主体とした(地域・企業他)連携事業の継続発展・新規実施、濱田教授他申請分:保育学科学生的那珂川市子育て支援事業参加、吉田AO係長申請分:Komet(学生広報スタッフ)による新規企画・事業の立ち上げ。
⑥ 「アクティブ香蘭」の募集継続	学生の積極的な活動を応援するため、その活動に必要な資金を援助する制度の継続。令和4年度は1件(食物栄養学科学生による「子ども食堂」の立ち上げ及び運営)が採択された。
⑦ プラットフォーム事業の継続	「令和4年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3(地域社会への貢献)」にて採択された「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」の継続実施。
⑧ KORAN REDWEEKの実施	令和3年度より始まった短大のスクールカーラーの認知度を向上させる取組の継続。令和4年5月16日から5月20日に実施され、レッドコーデの日、食堂とのコラボ、ライブペインティングなどの学科による様々な企画が行われた。
⑨ 授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員を顕彰する事業の継続実施。
⑩ 公開授業の継続	専任・非常勤教員の授業公開。令和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ったが令和4年度より再開した。
⑪ インターンシップの継続	例年、春季・夏季・後期に分け説明会を行い、学生の希望企業(分野)とのマッチングを行い実施。コロナウイルスの影響が残ってはいるが、徐々に活発化している。また、コロナ禍でWebによるインターンシップ等、形態の多用性が生じている。
⑫ 留学生の計画的受け入れの継続	前年度、コロナのため留学生の日本語学校への入学者が激減した影響が残り、令和4年度についても前年度に引き続き目標の入学者数を達成できなかった。東洲大学からの短期留学もコロナウイルスの影響により中止とした。
⑬ 高大連携事業の継続	コロナ感染拡大防止対策を図りながら、博多工業高等学校、香椎高等学校との高大連携事業を継続実施した。
⑭ 高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度より運用開始。授業料減免と給付型奨学金の支給がセットで行われる。令和4年度は第1～第3区分の合計対象者が146名と前年度の152名から微減したが、利用者の割合は21.5%と前年の19.8%から増加した。学生数の減少もあり利用者数は減ったが、利用者の割合は増加傾向である。

R4年度 事業の概要

◆短期大学(続き)

2/3

事業項目		事業の概要
⑮	自己点検評価の実施	相互評価(令和5年度実施予定)に向けての準備(役割分担・執筆)を開始。
⑯	パソコン室の更新	計画通り、341・342教室のPC室機器更新(入れ替え)及び861教室のPCバージョンアップを実施した。
⑰	7・8号館の外壁改修工事及びトイレ改修工事	7号館(昭和58年竣工)、8号館(昭和62年竣工)の経年劣化による外壁落下防止工事及びトイレの和式から洋式への改修工事を令和4年12月より着手。大規模改修のため、年度内には終了せず、令和5年度(5月まで)の継続事業となった。
⑱	1号館外壁補修工事	計画通り、1号館1階庇等の簡易補修工事を実施した。
⑲	学生寮Wi-Fi化工事	計画通り、那珂川寮・三宅寮の寮室を全室Wi-Fi化するための工事を実施し、令和5年3月下旬より利用を開始した。
⑳	「南区おおはし子どもプラザ」の委託運営開始	福岡市より委託された子どもプラザの運営を令和4年8月27日より、リニューアルオープンとなった南区市民センター内で開始。短期大学・しおばる保育園にて「こうらん子どもプラザ共同事業体」を組織し、子どもプラザ(子育て支援コンシェルジュ)及び一時預かりの事業を展開している。

◆専門学校

事業項目		事業の概要
①	夏季クリエイション・ショーの開催	体験入学・学校説明会に合わせて、7月24日にはアーカイブファッションショーを、8月22日にはファッションデザイン専攻科3年生新作ショーを学内で実施した。〔KORAN COLLECTION〕
②	卒業記念展・進級作品展の開催	2/19に福岡ファッションビルにて卒業記念展を開催。今年度は観客を入れ、学科により前半と後半の2回に分け入れ替え制で実施、同時にライブ配信も行った。3/11に進級作品展を学内で実施。学校説明会も同日に開催した。
③	キャリアガイダンスの実施(アパレル企業説明会の開催)	4月20日に販売系、25日に技術系と2回に分け、2年ぶりに合同企業説明会を実施。また、年間を通して定期的に就職オンラインセミナーを実施し、学生の就職意識向上を図った。
④	学外研修	海外研修はコロナの影響で実施できる段階ではないため、国内での研修を実施。12月20日・21日の2日間にわたり岡山デニムの見学、大阪での企業訪問等を実施した。
⑤	広報活動の一環として積極的に校外へ露出	ファッションマンスほか各種ショーへ参加した。地場行政活動やその他企業からのイベントの誘致にフレキシブルに対応していく形を取り、久留米餅、手づくりフェア、ECOファッション、障がい者週間ファッションショー、丸の内ファッションウィークなどに参加し、学校名、学生作品の露出に努めた。
⑥	全国規模:各種コンテストエントリー	「第19回世界水泳選手権2023福岡大会表彰式衣装デザイン」最優秀作品、「Silk Idea Competition-TENSAN-2022in AZUMINO」最優秀賞(TENSAN DESIGN賞)、「第22回YKKファスニングアワード2022」入選、「名古屋ファッションコンテスト2022」入選、「第59回全国ファッションデザインコンテスト」入選、「大坂デコリメイクコンテスト」特別賞、「BOOK OFF Re Clothes CUP デザイン部門」入選7点・製品販売部門18点入選、「技能五輪全国大会(幕張メッセ)」3位入賞、「FADS(Fukuoka Asia Designer Show)」グランプリ受賞、「全国ファッションコンテスト(THE12)」入選、「装苑賞」本選通過、等。
⑦	ファッション業界トレンドセミナー実施	本年度もコロナウイルス感染防止対策のため、対面とオンライン配信を取り入れたハイブリッドでセミナーを実施。WWDトレンドセミナー(5月)、服(副)資材セミナー(11月)、装苑編集長:児島氏×スタイリスト:相澤氏の特別講義(11月)、ISSEY MIYAKEデザイナー宮前氏の特別講義(11月)、ANREALAGEデザイナー森永氏の特別講義(12月)などを実施した。

R4年度 事業の概要

◆専門学校(続き)

3/3

事業項目		事業の概要
⑧	同窓会・学友会の発展	同窓会運営の意義は、母校への多角的な支援、会員相互の親睦、会員のための情報提供である。そのための活動として各種行事の運営委員会、総会を実施しているが、コロナ禍中は対面で実施できなかった。次年度は対面で総会を開けるように準備している。学友会は学生自身が組織の運営を通して社会を学べる機会であり、主に文化祭の実行委員会がその主たる目的だが、学校の広報にも積極的に携わるように全体運営を見直す準備をしている。
⑨	3DCADの実施	学校施設を提供した「スクールインスクール」として、TFLと共同で、3D CADの最先端である(CLO)のオペレーターの育成(希望者及び社会人対象)を実践してきたが、完全オンライン化に伴い9月でいったん終了。次年度の本校 CAD室の入れ替えを機に、次世代の3DCAD導入準備を行う。
⑩	高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度から運用された制度を継続して実施した。
⑪	本館屋根の腐食防止工事	計画通り、本館(平成元年度竣工)屋根の腐食防止(錆取り、塗装、防水)工事を実施した。
⑫	本館照明LED化工事	計画通り、本館(平成元年度竣工)の照明をLED化する工事を実施した。

◆附属幼稚園

事業項目		事業の概要
①	処遇改善手当の支給	月額8,000円～12,000円程度の処遇改善手当を教諭、保育教諭に支給。
②	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業及び教育支援体制整備費補助金(幼稚園の教育体制支援事業)にかかる新たな処遇改善の実施	月額9,000円～11,000円程度の手当を①の処遇改善に加え教諭、保育教諭に特例改善手当として支給した。
③	3歳児から5歳児の保育料無償化の運用継続	2019年10月より開始された制度の運用を継続実施。
④	各種研修会への参加	しおばる保育園を含めた4園合同研修会を実施。各種団体が主催する研修へは、適宜参加した。
⑤	任意参加の園児向け各種教室の実施	スポーツ(体操、水泳)、英会話教室等の園児向けのプログラムを継続し実施。
⑥	香蘭幼稚園 通園バスの買い替え	計画通り、4号車の新車への買い替えを行った。
⑦	第二幼稚園 園舎外壁塗装工事	計画通り、園舎外壁の底部分とその周辺を中心とした塗り替え及び防水工事を行った。

◆法人本部

事業項目		事業の概要
①	学校法人ガバナンス改革への対応	「私立学校法の一部を改正する法律案」が成立、令和7年4月1日に施行する見込みとなったため、令和6年度中の寄附行為改正手続き等を見越し、常任理事会で諸案件の検討を開始した。
②	中長期計画の策定(周知)	令和3年度に策定した中長期計画(5年間)の周知の一環として財務関係の現状把握に関する研修会をFDSD研修会時にあわせて実施した。
③	役員賠償責任保険への加入	改正私立学校法(令和2年)に基づく役員の学校法人に対する責任(善管注意義務等)負担が明確になったことに対し、訴訟・賠償リスクへの備えのため、令和3年7月に加入した保険の継続加入を行った。

★香蘭女子短期大学

【ファッション総合学科卒業制作展の実施】

例年通り、天神ソラリアプラザ1F「ゼファ」において、2月9日～12日の4日間、卒業制作展を開催した。本年度のテーマは「平和への願い～戦争からみるファッション～」。ロシアによるウクライナ侵攻など、地球上の争いは絶えない。学生たちは、この世界情勢から過去の歴史や文化を調査・研究し、平和への願いを込めて作品を制作した。また、論文では、総合芸術とも言われるオペラの衣装に関する調査・検証を重ね、ドレスのリメイクに取り組み、文化や芸術がもたらす平和や豊かさについて考察した研究も展示発表した。3年ぶりに対面でのショーも実施し、多くの方に来場いただいた。



★香蘭ファッションデザイン専門学校

【卒業記念展の開催】

2/19に福岡ファッションビルにて卒業記念展を開催。今年度は観客を入れ、学科により前半と後半の2回に分け入れ替え制で実施、同時にライブ配信も行った。



香蘭女子短期大学の教育活動

①香蘭女子短期大学 3つのポリシー

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

【入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）】

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。

《学科の教育目的・目標、3つのポリシー》

■ファッション総合学科

【教育目的・目標】

- ファッション業界で活躍できる技術力を養う。
- 総合的なファッション知識を深める。
- ファッション教育を通して人間力を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 入学後の就学に必要な基礎学力を有している人
- 2 自らの感性と、その技術を高める意欲のある人
- 3 服飾造形やファッションビジネスに関心があり、ファッションのことをもっと広く・深く学び、その知識や技術を社会や産業界で活かしたいと考えている人
- 4 何事もあきらめずに努力し、自己の可能性に挑戦する意欲のある人
- 5 地域社会とのかかわりに積極的に参加し取り組むことができる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 知識、理解
 - ①一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。
 - ②ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。
 - ③服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。
- 2 技能、表現
 - ①ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。
 - ②ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。

③修得した知識や技術を総合的に活用することができる。

3 人間力、態度

①専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力（社会人になるためのマナー、コミュニケーション能力、忍耐力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を有している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

1 共通基礎教育

①豊かな人間形成のための基礎力と基礎的な学力を身につけるための科目を全学期（1期～8期）で開講し、専門科目とのバランスを図る。

②初年次教育として1、2期では、2年間の目標と計画を立て、短期大学での学習方法やレポートの書き方を学ぶ。また、チームワークや教員とのコミュニケーションを図る。

2 専門教育

①ファッションの職種の広がりに対応するために、4つのフィールド（デザイン、ファッション造形、ファッションビジネス、生活スタイリング）の中から、将来のなりたい職種に必要な科目をそれぞれ選択できる。

②多様な職種にも対応できる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を身につける。

③アパレルメーカーで必要な実践的能力を身につける。

④学生が自主的に学ぶ科目として「特別演習」を設ける。

⑤専門的な知識と技術を身につけ、2年間の学びの集大成となる卒業制作または卒業論文を完成させる。

3 キャリア教育

入学後の早い時期から最終期（2期～8期）まで現場で学ぶインターンシップを経験させるとともに、「総合演習」の中で学科独自の就職支援講座を充実させ、就労意識を高めるための体系的なキャリア教育を行う。

■食物栄養学科

【教育目的・目標】

□栄養士が果たすべき専門職務や立場を十分に理解させる。

□栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を養う。

□栄養の指導や給食の運営を行うために必要な実践的能力を養う。

□食と健康の専門科目の学習を通して、自活力や生活力を兼ね備えた社会に貢献できる教養ある人を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

1 栄養士の仕事を通して社会に貢献したい人

2 「食」に興味があり、栄養士の仕事との関わり合いが深い食生活の改善や健康・増進と、併せ調理技術向上を目指したい人

3 現実社会で生き抜くための基礎的なマナーが身についており、規則正しいライフスタイルが確立されている人

- 4 食生活の偏りに起因する生活習慣病に対して、栄養士として問題を積極的に解決しようとする志を抱いている人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 栄養と健康の関係、栄養素と食品の関係、食の安全、食料資源の確保、食料を食べ物に変える加工（調理を含む）および貯蔵の原理・技能、食生活の歴史などに関する知識と理解によって、望ましい食生活の実践につながる視点で説明することができる。
- 2 栄養に関する知識を持ち、食事管理や食事指導に携わることのできる能力およびマナーやコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が身についている。
- 3 食・栄養・健康に関する実践的・体験的な学習をすることで、栄養士としての知識を具現化する技術を身につけ、体験を通して生活の場での実践意欲を持つことができる。
- 4 現実社会の各種の多様な情報を客観的に理解し、適切に判断することができるとともに、情報ツールを使いこなして食事管理や食事指導に有効に活用することができる。
- 5 社会人として、いかなる困難に直面しても創意・工夫を大切に、人を愛し、人から愛される自立した女性としての立ち振る舞いができる。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育は、総合演習およびキャリアアップセミナーにおいて、食物栄養学科学生として学生生活を有意義に過ごすための必要不可欠な基礎的知識を身につける。
- 2 栄養士に必要な専門科目の学習を通して、知識・技能・態度と、併せて調理技術向上を目指した基礎的な能力を身につける。
- 3 栄養指導や給食の運営を行うために必要な実践的・体験的な学習を通して、栄養士としての実践的能力を身につける。
- 4 栄養と食に関する様々な専門知識を広く家族・地域・社会に伝え、食生活の改善に貢献できる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。
- 5 本学の教育理念を踏まえて、常に栄養士としてのプロ意識を保持しつつ、日々自分自身がスキルアップできる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。

■保育学科

【教育目的・目標】

3つの心を育む。

□自己の成長を願う心。□他者の成長を喜ぶ心。□社会の役に立つことを願う心。

4つの感性を涵養する。

□学びの感性＝学びに対する意欲を持つ。□交流の感性＝積極的に人と交流できる力を持つ。

□情報の感性＝必要な情報を収集できる力を持つ。□仕事の感性＝仕事への情熱と誇りを持つ。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 子どもが育つことに関心を持っている人
- 2 さまざまなことに率先して取り組むことができる積極的な構えを持っている人
- 3 保育者としての信念と誇りを持てる人
- 4 自分を大切に生き生きと行動できる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 さまざまな保育現場において実践家として活躍できる保育者
- 2 そのために必要な専門的な知識・技能と、それを支える基礎となる「保育者としてふさわしい人間性」を持った保育者

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 専門教育保育者として必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく往還的に学んでいく。実践家として活躍できる力を身につけるため、あそびと教材研究等を学び、「実習」「保育・教職実践演習（幼稚園）」において総合的に学ぶ。
- 2 教養教育自らの関心や特性をもとに科目を履修し、保育者としてのさらなる成長に必要な教養を身につけ深めていく。
- 3 初年次教育主体的に学ぶ姿勢を身につけるため、オリエンテーションならびに総合演習において、短期大学における学習のあり方と心構えについて学ぶ。保育者を目指すクラスメートと共に学ぶ風土を形成し、保育士資格・幼稚園教諭免許の2つの資格免許取得を目標とする心構えを持つ。
- 4 キャリア教育オリエンテーションならびに総合演習において、学年集会やクラスミーティング、OG懇談会、自主実習等を通し、社会人としての心構えや基本マナー、保育現場の実際、専門就職の方法について学ぶ。アドバイザーを始めとする学科教職員とのキャリア指導の中で具体的な学びを行う。
- 5 教科外学習社会人として必要なコミュニケーション力、組織におけるリーダーシップ・フォロワーシップ、現場における協働力を身につけるべく、学校・学科行事、サークル活動を体験する。
- 6 学園生活毎日の授業や学生生活の中で、教員やクラスメートとの交流を通し、「保育者としてふさわしい人間性」を身につける。

■ライフプランニング総合学科

【教育目的・目標】

- 自己をよりよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。
- 地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技能を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。
- 多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人
- 2 学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人
- 3 選んだ専攻で専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人
- 4 多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。

- 2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
- 3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
- 4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる。
- 5 生涯学習に資する習慣を確立している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育の一環として、基礎科目・総合演習において、本学の仕組み、学習方法、資料調査方法、チームでの作業などを学ぶ。
- 2 選択したメジャーにおいて、専門的な知識や技能を学ぶ。
- 3 情報リテラシーとメディアリテラシーで、ITの知識と技能及びプレゼンテーションの方法を学ぶ。
- 4 地域での活動、就業体験、短期留学、検定取得などができるように学期を配置している。
- 5 基礎科目・総合演習や学科行事において、キャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。
- 6 多くの教養科目や選択科目を学ぶことができる。
- 7 学生が主体的に関わる授業を行う。

②ディプロマ・ポリシーのアセスメント

■令和4年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	61(5)	56(5)	54(5)	96.4%
食物栄養	59	58	54	93.1%
保 育	105	95	91	95.8%
ライフプランニング総合	131(25)	121(20)	119(20)	98.3%
合計	356(30)	330(25)	318(25)	96.4%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	58名中51名	87.9%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	88名中85名	96.6%
保育士資格	95名中91名	95.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和3年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	73(8)	72(7)	67(3)	93.1%
食物栄養	59	57	56	98.2%
保 育	128	114	114	100.0%
ライフプランニング総合	150(30)	140(25)	138(24)	98.6%
合計	410(38)	383(32)	375(27)	97.9%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	57名中54名	94.7%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	109名中105名	96.3%
保育士資格	112名中107名	95.5%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和2年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	84(11)	73 (8)	67(6)	91.8%
食物栄養	57	53	52	98.1%
保 育	148	143	141	98.6%
ライフプランニング総合	154(41)	140(40)	134(37)	95.7%
合計	443(52)	409(48)	394(43)	96.3%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	53名中52名	98.1%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	136名中133名	97.8%
保育士資格	139名中136名	97.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和元年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	63(2)	58 (3)	53(2)	91.4%
食物栄養	71	63	62	98.4%
保 育	143	138	136	98.6%
ライフプランニング総合	129(5)	121(5)	113(5)	93.4%
合計	406(7)	380(8)	364(7)	95.8%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	63名中55名	87.3%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	136名中125名	91.9%
保育士資格	137名中125名	91.2%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

◇調査の概要

・以下、8つの項目に対しての5段階評価(5高⇒1低)の平均値を記載。

◇調査数

- ・令和4年度は卒業生数318名、回答者275名、回答率87%。(※Web調査)
- ・令和3年度は卒業生数375名、回答者259名、回答率69%。(※Web調査)
- ・令和2年度は卒業生数394名、回答者193名、回答率49%。(※Web調査)

1. あなたが2年間で受講した授業の内容についての満足度はどうでしたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.74	3.86	4.12
食物栄養	4.15	3.70	4.11
保 育	3.89	3.48	4.07
ライフプランニング総合	4.19	3.71	3.77
全平均	4.02	3.67	4.01

※令和4年度は対面授業を基本としたため得点が伸びたと思われる。

2. 本学で友だちの関係についてはどうでしたか。友だちに恵まれましたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	4.36	4.60	4.24
食物栄養	4.19	4.74	4.41
保 育	4.14	4.34	4.43
ライフプランニング総合	4.34	3.77	3.91
全平均	4.25	4.26	4.26

※この項目の評価は悪くないが友人関係の構築に関する取組が必要と思われる。

3. あなたが接した先生方は親切・親身になってくれましたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.77	4.16	4.08
食物栄養	4.31	4.24	4.46
保 育	4.03	3.69	4.25
ライフプランニング総合	4.23	4.05	4.13
全平均	4.11	4.01	4.24

※対面授業が基本となったため得点が向上したと思われる。

4. あなたが接した事務職員は親切に対応してくれましたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.53	3.69	4.12
食物栄養	4.31	4.07	4.11
保 育	4.03	3.54	4.33
ライフプランニング総合	4.23	3.95	4.23
全平均	4.11	3.86	4.22

※対面授業が基本となったため得点が向上したと思われる。

5. 本学の施設・設備は充実していましたか(教室、図書館、食堂、体育館や授業・実習で使用する機器等全体について教えてください)。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.79	4.12	4.36
食物栄養	4.19	4.04	4.26
保 育	3.86	3.70	4.09
ライフプランニング総合	3.97	4.04	4.08
全平均	3.95	3.97	4.16

※老朽化した施設の改修を令和4年度末から行っている。

6. 本学に入学して将来に生かせる力がつきましたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.85	4.20	4.28
食物栄養	4.19	4.15	4.39
保 育	4.23	4.03	4.38
ライフプランニング総合	4.24	3.89	3.87
全平均	4.16	4.03	4.23

※対面授業を基本としたことが影響している可能性がある。

7. 本学に入学して一人の人間として成長することができましたか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.91	4.20	4.36
食物栄養	4.31	4.24	4.37
保 育	3.99	3.93	4.42
ライフプランニング総合	4.34	3.93	3.91
全平均	4.16	4.04	4.26

※対面授業を基本としたことが影響している可能性がある。

8. 学訓である「創意・自立・敬愛」が身についたと思いますか。

学 科 名	R4年度	R3年度	R2年度
ファッション総合	3.62	4.10	4.16
食物栄養	4.09	3.96	4.26
保 育	3.66	3.59	4.10
ライフプランニング総合	4.11	3.85	3.87
全平均	3.89	3.85	4.08

※昨年より改善したが、まだ改善の余地がある。

香蘭女子短期大学の研究活動

■香蘭女子短期大学 研究紀要

研究活動については下記アドレス先に掲載

<https://www.koran.ac.jp/about/disclosure/research.html>

令和4年度
地域連携取組状況 1

【概評】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむを得ず中止したものもあったが、予定していた講座の大半は実施することができた。令和3年度と比較すると開講数は大幅に増加した。

■南区こども大学

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
8月5日	世界の文化を楽しく学ぼう	136教室	LP	井野 智一郎
8月8・9日	新しいスポーツ種目をつくってみよう	体育館及びリズム室 *コロナのため中止	保育	中村 洋子
8月9日	自分でデコろうエコバッグ	CAD室・148教室	FA	杉 森 孝
8月20日	みそ玉で簡単みそ汁を作ろう！	第2調理実習室・試食室	食栄	宮崎 貴美子

■南区出前講座(大学版)

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
5月20日	からだところをほぐすストレッチ運動	福岡市立老人福祉センター若久園	保育	中村 洋子
6月25日	折方を身近に	横手地区男女共同参画協議会(横手公民館)	LP	河野 洋子
7月16日	かしこく受験期を乗り切ろう！～受験期のレシピや栄養素、時間帯は？～	鶴田公民館 *コロナのため中止	食栄	宮崎 貴美子
7月29日	透ける紙のペーパークラフト	花畑小留守家庭子ども会	LP	河野 洋子
8月5日	透ける紙のペーパークラフト	花畑キッズスペース(花畑公民館)	LP	河野 洋子
10月15日	透ける紙のペーパークラフト	福岡市立南障がい者フレンドホーム	LP	河野 洋子
11月24日	ラッピング講座①	和田1丁目 男女共同参画部	食栄	青木 友紀子
12月9日	ラッピング講座③ 風呂敷の基本の包み他6種	福岡市老人福祉センター若久園	食栄	青木 友紀子
12月17日	透ける紙のペーパークラフト	子どもの居場所 やにしすまいる	LP	河野 洋子
1月21日	透ける紙のペーパークラフト	鶴田公民館	LP	河野 洋子
2月9日	ラッピング講座①	魅力学園 パートX (三宅公民館)	食栄	青木 友紀子

■夏季公開講座(高等学校教員向け)

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
8/1～8/31	動画で学ぶ被服講座1「ストリートパンツの製作」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	FA	角谷 由加里
	動画で学ぶ被服講座2「裏付きトートバッグ製作」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	FA	角谷 由加里
	「調理学実習の生ごみ(野菜くず)を使った土づくり」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	食栄	青木 友紀子
	「Google Classroom 活用術」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	LP	河野 洋子

■「子どもプラザ」での取り組み

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
月1回 第2金曜日	発達相談・身体測定	南区おおはし子どもプラザ	保育	濱田 尚志
9/9、12/16、3/30	わらべ歌遊び、ふれあい遊び	南区おおはし子どもプラザ	保育	寺地 亜衣子
10/19、2/17	からだ元気タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	中村 洋子
10月26日	パパのための子育て講座	南区おおはし子どもプラザ	保育	姫島 源太郎
11月25日	ふれあいのおはなし(絵本)タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	山田 裕美子
12月17日	クリスマス雑貨のワークショップ	南区おおはし子どもプラザ	FA	尾畑 圭祐
2月15日	音楽あそび	南区おおはし子どもプラザ	保育	黒木 知美
3月15日	らく絵がき	南区おおはし子どもプラザ	保育	杉森 映徳

■学内での講座

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
7月7日	志免中学校進路授業「上級学校見学」	香蘭女子短大内教室	F・保	尾畑・山田
11月15日	ジョイント授業「ナップザックを作ろう」	154、157教室	ファッション総合学科	
8/27・9/17・10/15・29	アクティブ香蘭「子ども食堂」の運営	喫茶室	食栄	宮崎・森山
10/22、11/19、2/25	スペシャルオリンピックス 日本 福岡 ヤングアスリートプログラム	体育館リズム室	保育	中村 洋子
3月2日	博多工業高校との高大連携事業：模擬授業/学校見学等	126教室他	全学科	教員4名

令和4年度
地域連携取組状況 2

■高等学校向け出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
5月20日	ファッションショーの企画と実施	福岡女子高等学校	FA	斉藤 朋子
6月 1日	ファッションの職業（ライセンスアカデミー）	日田三隈高等学校	FA	角谷 由加里
6月16日	ファッションの職業（ライセンスアカデミー）	早良高等学校	FA	斉藤 朋子
6月24日	「ファッションデザイン画」特別授業	香椎高等学校	FA	杉 森 孝
9月15日	ファッションの職業（ライセンスアカデミー）	ありあけ新世高校	FA	岡田 絵梨奈
10/7、10/28	色彩検定1級対策講座	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
10月18日	「ファッションデザイナー/スタイリスト/バイヤーのちがいについて」(昭栄)	佐賀学園高等学校	FA	岡田 絵梨奈
10月25日	SDGsチャレンジプロジェクト最終発表会・3年生総合的な探究の時間	福翔高等学校	FA	斉藤 朋子
11月 9日	「ファッションデザイン」 ファッション画による表現/着彩の方法	稲築志耕館高等学校	FA	彌永 裕子
12月 7日	「ファッションデザイン画」特別授業 基礎的画法について	香椎高等学校	FA	彌永 裕子
12月21日	幼児教育・保育②（さんぼう）	島原商業高等学校	保育	姫島 源太郎
12月22日	食に関する職業・栄養士（ライセンスアカデミー）	希望が丘高等学校	食栄	北原 勉
1月25日	食物・栄養（さんぼう）	北稜高等学校	食栄	宮崎 貴美子
2月8日	「ちがいは？講座」 保育士・幼稚園教諭のちがいについて(昭栄広報)	日田三隈高等学校	保育	濱田 尚志
2月16日	幼児教育・保育の仕事（さんぼう）	福岡農業高等学校	保育	梅田 美穂
3月 2日	ファッションの仕事（さんぼう）	太宰府高等学校	FA	尾畑 圭祐
	保育・幼児教育（さんぼう）		保育	寺地 亜衣子
3月 8日	子どもと接する仕事（さんぼう）	精華学園高等学校 福岡中央校	保育	姫島 源太郎
3月 9日	ファッション分野職業理解・体験型ガイダンス（アドバンスクリエイト）	誠修高等学校	FA	彌永 裕子
3月10日	「職業体験」 保育・福祉の仕事について(昭栄広報)	博多工業高等学校	保育	中村 洋子
3月10日	子供と接する仕事(さんぼう)	博多女子高等学校	保育	山田 裕美子
3月13日	「観光・ホテル・ブライダル」学問分野と受験情報	飯塚高等学校	LP	井野 智一郎
3月14日	「ファッションの仕事と進路について」(アドバンスクリエイト)	佐賀東高等学校	FA	岡田 絵梨奈
3月15日	ファッションの仕事（さんぼう）	筑紫台高等学校	FA	尾畑 圭祐
3月16日	アクティブラーニングガイダンス ファッションの歴史を学んで未来のファッションを考えよう(アドバンスクリエイト)	東筑紫学園高等学校	FA	斉藤 朋子

■その他出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
月2回	ソウタシエ(縁を装飾するコードで作るアクセサリ)講師	株式会社Dua主催 ワークショップ	FA	斉藤 朋子
4月2日	子育て支援ワークショップ	コミ×てんラジオ カルチャースペース	保育	杉森 映徳
9/6～9、 9/24～26	子育て支援プロジェクト2022	横浜	保育	杉森 映徳
10月30日	子育て支援ライブペインティング 3rd	ベイサイドプレイス博多	保育	杉森 映徳
9月23日	南区市民センターリニューアルオープン記念事業	南区市民センター	保育	杉森 映徳
11月26日	市民局スポーツ振興課主催 「共創スポーツ」について	南区市民センター	LP	河野 洋子
6月10日	地域支援事業「なかよしサロン」 救命救急講習/バレー講習	那珂川第一幼稚園	保育	中村 洋子
9/17、2/18	第5回、第11回「～からだげんきタイム ～親子でチャレンジ！」	久留米信愛短期大学	保育	中村 洋子
2月 6日	手芸講座「きんちゃく袋作り」	高木校区 男女共同参画事業部	保育	相賀 貴子

■那珂川市との連携事業

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
7月19日	職員スキルアップ研修	ふれあいこども館	保育	濱田 尚志
10月23日	サンデーあそぼっ！	ふれあいこども館	保育	濱田・杉森・阿久根
11月13日	こども文化祭企画 おまつり広場と人形劇 午前午後各1回	ふれあいこども館	保育	濱田・杉森・阿久根

■ボランティア活動等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
4/30、5/1、 10/29、30	糸島ハンドメイドカーニバル	志摩中央公園プロムナード	LP	中濱・学生4名
5/21、22	イベント(NEW WEEKEND)ブースでのワークショップ(ペナント製作)	INN THE PARK FUKUOKA	FA	尾畑・学生11名
12月14日	花壇の植え替え作業	南区役所	LP	河野・学生38名

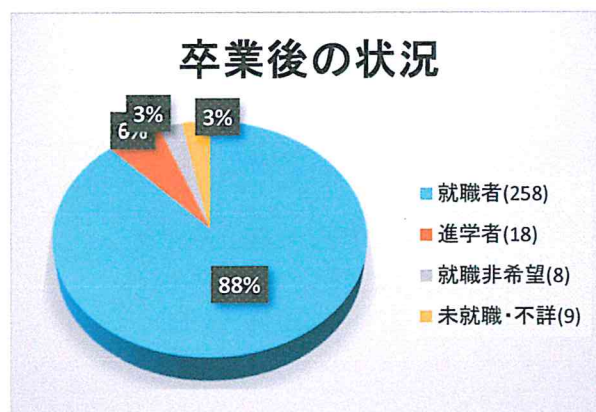
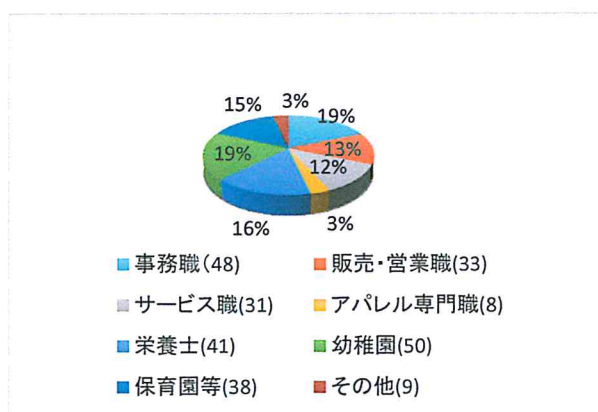
進路状況

短期大学

R4年度卒業生

R5年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル 専攻科
卒業生数 (留学生を除く)	49	54	91	99	293	10
就職希望者数	31	51	90	95	267	10
希望率%	63.3%	94.4%	98.9%	96.0%	91.1%	100.0%
就職決定者数	30	51	89	88	258	10
就職決定率%	96.8%	100.0%	98.9%	92.6%	96.6%	100.0%
進学者数	14	1	0	3	18	0
就職非希望者	4	2	1	1	8	0



専門学校

R4年度卒業生

R5年5月1日現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数 (留学生を除く)	19	22	33	28	102
就職希望者数	13	16	29	22	80
希望率%	68.4%	72.7%	87.9%	78.6%	78.4%
就職決定者数	10	16	19	21	76
就職決定率%	76.9%	100.0%	100.0%	95.5%	95.0%
進学者数	1	2	2	1	6
就職非希望者	5	4	2	5	16

■就職者の職種別割合

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス
デザイナー・企画 職・生産管理職	40%	6%	—	—
縫製職 パターンナー、CADオペ レーター等	50%	31%	90%	—
販売職 ファッションアドバイザー等	10%	44%	7%	90%
営業職 アパレルメーカー営 業・企画等	—	—	3%	5%
その他 EC職、ブライダルコーディネーター等	—	19%	—	5%

人事について

<香蘭女子短期大学>

下記の表は令和2年度以降の短期大学教職員数である（寮監2名を除く）。

年度	教員数				助手 副手	事務 職員	短大 合計
	教授	准教授	講師	計			
R 2 年度	16	12	7	35	12	24	71
R 3 年度	15	10	6	31	12	24	67
R 4 年度	11	10	9	30	12	24	66
R 5 年度	12	12	8	32	12	24	68

教員については、令和2年度末に定年等で7名、令和3年度末に6名、令和4年度末に0名、3年間で計13名が退職。退職に対しての教員の新規採用は、令和3年度に2名、令和4年度に5名、令和5年度に2名の計9名に留め、令和5年4月時点で32名となった。令和2年度時点で設けていた教員の削減目標は31名であり、1名多い状況ではあるが、嘱託再雇用の教員を含めた人数となっているため、目標はほぼ達成できている。

助手（副手）については、令和5年4月時点で嘱託再雇用者を含め12名で令和2年度時点の削減目標13名を下まわっており、目標は達成できている。

コロナ禍で募集を行った令和3年度募集から、食物栄養、保育の入学生数が減少、定員充足率の低下が著しい状況となり、経常費補助金が減額される事態が発生している。ついては、令和6年度募集から食物栄養、保育、ライフプランニング総合の3学科の入学定員変更（減員）を行うこととした。食物栄養、保育の2学科については資格・免許に関わる教員の配置が求められるため、減員に応じ単純に教員の数を減らすことはできないが、令和6年度以降の教員の採用については、定年等の退職者が出た場合に補充の必要性を精査し、採用の有無を決定したい。また、助手（副手）の採用は原則として行わず、入学者数の回復が見込めない場合は、事務局への異動なども視野に入れ検討を行う。

職員については、定年等退職者の発生に応じ新規採用を行っており、過去4年間の人数に変動はない。令和2年度時点で設けていた職員の削減目標は23名であり、現状の24名に対し1名多い状況であるが、ほぼ目標は達成できている。今後、定年等の退職者が発生した場合、業務内容によっては専任の採用ではなく、派遣やパート等を活用し、人件費を抑える採用方法を検討した上で採用活動を行う。

<香蘭ファッションデザイン専門学校>

令和3年度当初は、教員14名（校長1名、副校長1名を含む）、事務職員5名（寮監除く）であった。クラス担任制（9クラス）で運営しており、9名が担任となり、4名の副担任がクラス運営の補佐に当たっている。校長以外の教員は、担任または副担任の業務を行っており、人数的な余裕はほとんどない状況であった。令和3年度の入学生が前年度から大幅に増加したため、令和3年度中（8月）に教員1名を採用し、2学期より教員を15名体制とした。

令和3年度末に教員3名が定年等で退職したが、うち1名は令和4年より嘱託再雇用したのに加え、新たに教員1名、教務系職員1名を採用した。また、事務主任と教員を兼務していた職員を主幹教員に

配置し、令和4年度は教員を16名体制とした。事務職員は令和3年度は5名であったが、事務主任が配置換えになったことに伴い令和4年度は4名となった。令和4年度末に嘱託教員1名が退職したことに伴い、令和5年度に教員1名を採用したため、教員数の変動はない。

今後は、現教職員数を維持することを基本とし、入学・在学者数に応じ、教職員数の増減を行うことを計画している。

<香蘭幼稚園>

令和3年度は、教員16名（園長除く）、職員1名、パート（預かり等保育補助、バス運転）9名であったが、令和4年度は教員を17名に増員した。また、令和5年度末で副園長の雇用契約が満了することを見据え、令和5年度はさらに2名増員し、19名体制とした。保育料の無償化に伴った預かり保育の対応、2歳児の入園希望者増等、業務量も増大している状況を鑑みれば適正な対応と考えている。今後も当該年度の入園児数、在園児数に応じ、専任教員19名前後の体制を維持する。

令和3年度中に送迎バス運転手3名のうち1名（パート）が退職。求人を出したが希望者が現れず、人材派遣会社に運転業務を委託することとした。大型自動車免許所有者という括りがあるため、簡単には適任者を見つけられないことが今後も想定される。そのため、他園を含め、今後は運転業務のアウトソーシングを検討しなければならない。

近年、パートを含めた教職員の確保が難しい状態がある。年度途中で退職する教員や病欠者の発生などを勘案すると、ゆとりのある教員数を確保し、不測の事態が発生した場合においても保育に支障のない体制を整えておく必要がある。令和5年度は教員数の増員を図っているが、引き続き、パートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

<那珂川第一幼稚園>

平成30年度より幼保連携型認定こども園に移行し、令和4年度で5年目を迎えた。令和4年度の教職員数は園長を含めた保育教諭が18名（うち嘱託3名）、給食（管理栄養士・栄養士）職員が3名、事務職員が1名となっている。幼稚園部（1号）と保育園部（2号・3号）があり、国が定めた人員配置に則った体制で運営している。令和5年度も同数を維持している。保育補助、調理補助、バス運転等のパート職員も20名以上必要な状態であるが、人員の確保が難しい状況があり、一部は人材派遣会社に依頼し職員を確保している。バスの運転手も令和4年度中に欠員（パート1名）が出たため、人材派遣会社に運転業務を委託することとした。公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和5年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

<那珂川第二幼稚園>

令和4年度は、園長を含めた教員が20名（うち嘱託2名）、職員が1名、パート（預かり等保育補助、バス運転）8名である。個別支援が必要な園児の対応及び保育料の無償化に伴った預かり保育の対応のため、令和4年度については前年から1名増員した。一方、令和3年度から入園者が減少し始め、令和4・5年度にかけて激減する結果となり、令和5年度の園児数は令和2年度から35%減となった。園児数の減少を受け、令和4年度末に6名の教員が退職したが、令和5年度は1名の採用に留め、15名（延長含む）体制としている。また、令和4年度中にバス運転手の欠員（パート1名）が生じたため、人材派遣会

社に運転業務を委託することとした。現在、令和 6 年度募集からの施設型給付園への移行を検討しており、組織改編を行う場合は、法令に則った人員の配置を行う。那珂川第一幼稚園と同様に公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和 5 年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

施設・設備等について

■令和元年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 3号館空調設備及びトイレの改修工事
- ・(短期大学) 8号館エレベーターの取り換え工事
- ・(短期大学) ブロック塀(正門側)の改修工事
- ・(専門学校) 本館改修工事
- ・(香蘭幼稚園) 遊戯室空調新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 遊戯室外壁補修及び園庭通路ルーフ新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 送迎バス買い替え
- ・(法人) 春吉土地の売却

■令和2年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 第二マルチメディア(125)教室の更新
- ・(短期大学) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 購買部の改修工事
- ・(香蘭幼稚園・法人) 第二運動場用地として隣地を購入・造成

■令和3年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 全館Wi-Fi化工事
- ・(短期大学) CAD室PC更新
- ・(短期大学) ブロック塀(那珂川沿い)改修工事
- ・(短期大学) 7, 8号館エレベーター建屋の防水工事
- ・(専門学校) パソコン室PC更新
- ・(那珂川第二幼稚園) 多目的トイレの新設工事

■令和4年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 1号館外壁(庇)簡易改修工事
- ・(短期大学) パソコン室更新工事
- ・(短期大学) 学生寮(那珂川寮・三宅寮)寮室Wi-Fi化工事
- ・(専門学校) 本館屋根の改修工事、照明LED化工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 園舎外壁塗装工事

■令和5年度以降の「第2号基本金組入計画」にかかる工事等予定は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事：54,000,000円（令和4・5年度）
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事：60,000,000円（令和4・5年度）
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事：117,000,000円（令和4・5年度）
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事：69,000,000円（令和4・5年度）
- ・(短期大学) 全館照明LED（省エネ）化工事：50,000,000円（令和5年度）
- ・(短期大学) 3号館エレベーター（2基）改修工事：30,000,000円（令和5年度）
- ・(専門学校) CAD室PC更新工事：18,000,000円（令和5年度）
- ・(専門学校) 本館外壁改修工事：60,000,000円（令和6年度）

財務の概要

(1) 令和4年度決算の概要

①資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払い資金（現預金）の顛末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、「学生生徒納付金収入」、「補助金収入」といった収入のみならず、授業料等の「前受金収入」、財務活動等の「その他の収入」などが含まれ、支出では、「人件費支出」、「教育研究経費支出」等以外にも「資産運用支出」、「その他の支出」などが含まれます。

令和4年度の資金収支の収入合計額は24億7,306万円（万円未満省略、以下同じ）で、前年度繰越支払資金の29億4,990万円と合計した54億2,296万円が収入の部の合計となりました。

収入の部の主な内訳は、学生生徒納付金収入が11億9,355万円、手数料収入が1,239万円、補助金収入が4億9,444万円、資産売却収入が9,217万円、付随事業・収益事業収入が7,697万円、受取利息・配当金収入が3,100万円、雑収入が2,191万円、前受金収入が3億4,197万円、その他の収入が5億7,706万円、資金収入調整勘定が△3億7,544万円でした。収入の中で特筆すべきものとしては、補助金収入の中に、令和2年度より開始した、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免相当分の支給額が1億1,036万円含まれています。

令和4年度の資金収支の支出合計額は24億6,659万円、翌年度繰越支払資金29億5,636万円と合計した54億2,296万円が支出の部の合計となりました。

支出の部の主な内訳は、人件費支出が10億5,356万円、教育研究経費支出が4億7,863万円、管理経費支出が1億2,980万円、施設関係支出が1億537万円、設備関係支出が5,591万円、資産運用支出が3億2,921万円、その他の支出が3億4,685万円、資金支出調整勘定が△3,276万円でした。教育研究経費支出の中に、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免額分の奨学金支出が1億1,036万円含まれています。

②活動区分資金収支計算書について

「活動区分資金収支計算書」は企業の財務諸表の内、キャッシュフロー計算書と類似した役割を果たす計算書となります。「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の3つに区分して、それぞれの区分での資金の増減を計算します。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができます。令和4年度の教育活動資金収支差額は2億1,964万円の収入超過となっています。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができます。施設整備等活動資金収支差額は3億157万円の支出超過となっています。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産の取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、8,838万円の収入超過となりました。これらの収支差額を合計した、支払資金の増減額は、646万円の増加となりました。その結果、前年度繰越支払資金29億4,990万円に増加した646万円を加えた、29億5,636万円が翌年度繰越支払資金となりました。

③事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」は、企業の財務諸表の内、損益計算書に類似した役割を持つ計算書類です。当該年度の事業活動の収支を表すもので、経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、臨時的な収支は「特別収支」として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動の収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

令和4年度事業活動収支における事業活動収入計は18億4,496万円、事業活動支出計は19億8,499万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は1億4,002万円の支出超過で、基本金組入額は5,141万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができます。教育活動収入計は、18億1,279万円、教育活動支出計は19億7,068万円、教育活動収支差額は1億5,789万円の支出超過となりました。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、主に財務活動の収支を見ることができます。教育活動外収入計は3,100万円、教育活動外支出は0円、教育活動外収支差額は3,100万円の収入超過となりました。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、1億2,688万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、特別収入計は116万円、特別支出計は1,430万円、1,313万円の支出超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支を見ることができますが、結果として1億4,002万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、5,141万円の計上となりました。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、1億9,144万円の支出超過となりました。

④貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、令和5年3月31日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の減少の要因となった主なものは、減価償却額によるものです。「特定資産」の増加については、主として将来的な施設更新に係る引当特定資産を計上したことが主な要因です。「その他の固定資産」の減少については、有価証券の売却をしたことが原因です。

「資産の部」合計は本年180億8,280万円となり、前年度と比較して1億4,513万円減少しています。また、「負債の部」合計は9億1,235万円となり、前年度と比較して511万円減少しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、171億7,045万円となり、前年度と比較して1億4,002万円減少しました。

令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）決算概要

①資金収支計算書

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,191,700,000	1,193,555,380	△ 1,855,380
手数料収入	11,850,000	12,394,726	△ 544,726
寄付金収入	6,500,000	6,983,569	△ 483,569
補助金収入	475,600,000	494,448,311	△ 18,848,311
資産売却収入	50,000,000	92,179,428	△ 42,179,428
付随事業・収益事業収入	76,700,000	76,977,645	△ 277,645
受取利息・配当金収入	30,200,000	31,008,801	△ 808,801
雑収入	17,080,000	21,919,977	△ 4,839,977
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	279,200,000	341,975,940	△ 62,775,940
その他の収入	603,800,000	577,066,453	26,733,547
資金収入調整勘定	△ 354,200,000	△ 375,446,755	21,246,755
前年度繰越支払資金	3,110,000,000	2,949,903,314	
収入の部合計	5,498,430,000	5,422,966,789	75,463,211
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,072,530,000	1,053,568,645	18,961,355
教育研究経費支出	472,600,000	478,633,861	△ 6,033,861
管理経費支出	138,940,000	129,808,821	9,131,179
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	100,000,000	105,371,859	△ 5,371,859
設備関係支出	62,600,000	55,914,032	6,685,968
資産運用支出	683,000,000	329,218,457	353,781,543
その他の支出	349,100,000	346,852,180	2,247,820
〔予備費〕			
資金支出調整勘定	△ 38,000,000	△ 32,769,191	△ 5,230,809
翌年度繰越支払資金	2,657,660,000	2,956,368,125	△ 298,708,125
支出の部合計	5,498,430,000	5,422,966,789	75,463,211

②活動区分資金収支計算書

(単位 円)

科 目	金 額
教育活動	
教育活動資金収入計	1,805,570,381
教育活動資金支出計	1,661,700,587
差引	143,869,794
調整勘定等	75,778,571
教育活動資金収支差額	219,648,365
施設整備等活動	
施設整備等活動資金収入計	140,818,000
施設整備等活動資金支出計	454,285,891
差引	△ 313,467,891
調整勘定等	11,894,920
施設整備等活動資金収支差額	△ 301,572,971
小計（教育活動+施設整備活動）	△ 81,924,606
その他の活動	
その他の活動資金収入計	442,295,646
その他の活動資金支出計	352,160,429
差引	90,135,217
調整勘定等	△ 1,745,800
その他の活動資金収支差額	88,389,417
支払資金の増減額	6,464,811
前年度繰越支払資金	2,949,903,314
翌年度繰越支払資金	2,956,368,125

③事業活動収支計算書

(単位 円)

科 目	金 額
教育活動	
教育活動収入計	1,812,792,591
教育活動支出計	1,970,685,079
教育活動収支差額	△ 157,892,488
教育活動外	
教育活動外収入計	31,008,801
教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額	31,008,801
経常収支差額	△ 126,883,687
特別収支	
特別収入計	1,167,679
特別支出計	14,305,286
特別収支差額	△ 13,137,607
基本金組入前当年度収支差額	△ 140,021,294
基本金組入合計	△ 51,419,641
当年度収支差額	△ 191,440,935
前年度繰越収支差額	3,272,886,216
基本金取崩額	5,033,945
翌年度繰越収支差額	3,086,479,226

④貸借対照表

(単位 円)

資産の部			
科目	令和5年3月31日	令和4年3月31日	増 減
固定資産	(15,095,129,816)	(15,156,149,388)	(△ 61,019,572)
有形固定資産	< 8,430,570,569 >	< 8,573,704,779 >	< △ 143,134,210 >
土地	3,313,151,447	3,313,151,447	0
建物	4,345,342,147	4,561,383,265	△ 216,041,118
その他の有形固定資産	772,076,975	699,170,067	72,906,908
特定資産	< 6,557,601,003 >	< 6,407,437,713 >	< 150,163,290 >
その他の固定資産	< 106,958,244 >	< 175,006,896 >	< △ 68,048,652 >
流動資産	(2,987,676,227)	(3,071,794,800)	(△ 84,118,573)
現金預金	2,956,368,125	2,949,903,314	6,464,811
その他の流動資産	31,308,102	121,891,486	△ 90,583,384
資産の部合計	18,082,806,043	18,227,944,188	△ 145,138,145
負債の部			
科目	令和5年3月31日	令和4年3月31日	増 減
固定負債	(479,318,283)	(482,558,673)	(△ 3,240,390)
長期未払金	17,280	120,960	△ 103,680
退職給与引当金	479,301,003	482,437,713	△ 3,136,710
流動負債	(433,032,820)	(434,909,281)	(△ 1,876,461)
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	433,032,820	434,909,281	△ 1,876,461
負債の部合計	912,351,103	917,467,954	△ 5,116,851
純資産の部			
科目	令和5年3月31日	令和4年3月31日	増 減
基本金	(14,083,975,714)	(14,037,590,018)	(△ 46,385,696)
第1号基本金	13,350,675,714	13,257,590,018	93,085,696
第2号基本金	353,300,000	400,000,000	△ 46,700,000
第3号基本金	250,000,000	250,000,000	0
第4号基本金	130,000,000	130,000,000	0
繰越収支差額	(3,086,479,226)	(3,272,886,216)	(△ 186,406,990)
翌年度繰越収支差額	3,086,479,226	3,272,886,216	△ 186,406,990
純資産の部合計	17,170,454,940	17,310,476,234	△ 140,021,294
負債及び純資産の部合計	18,082,806,043	18,227,944,188	△ 145,138,145

(2) その他

①有価証券の状況

【総括表】

(単位 円)

	当年度 (令和 5年 3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	604,272,946	647,408,002	43,135,056
(うち満期保有目的の債券)	(395,431,349)	(424,324,900)	(28,893,551)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	850,000,000	811,269,200	-38,730,800
(うち満期保有目的の債券)	(850,000,000)	(811,269,200)	(-38,730,800)
合 計	1,454,272,946	1,458,677,202	4,404,256
(うち満期保有目的の債券)	(1,245,431,349)	(1,235,594,100)	(-9,837,249)
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,454,272,946		

【明細表】

(単位 円)

種類	当年度 (令和 5年 3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	1,245,431,349	1,235,594,100	-9,837,249
株式	3,661,864	6,663,528	3,001,664
投資信託	205,179,733	216,419,574	11,239,841
貸付信託	0	0	0
合 計	1,454,272,946	1,458,677,202	4,404,256
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,454,272,946		

②借入金の状況 … なし

③学校債の状況 … なし

④寄附金の状況

	金額 (単位: 円)	寄付者
教育・研究環境の充実のための寄附	3,753,569	後援会・同窓会・保護者会・校友会より
〃	3,200,000	令和3年度短大卒業生より
〃	30,000	短大卒業生より寄附
	6,983,569	

⑤補助金の状況

(単位 円)

科目	金額
国庫補助金	156,416,300
経常費補助金	78,568,000
高等教育の修学支援補助金	77,748,600
その他の補助金	99,700
地方公共団体補助金	157,449,581
経常費補助金 (県)	101,305,000
その他の地方補助金	23,525,581
高等教育の修学支援補助金	32,619,000
施設型給付費	180,582,430

⑥関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

1) 当法人の理事長 (坂根康秀) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事長を務めている。
2) 当法人の副理事長 (坂根潤樹) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事を務めており、当法人の理事長と親族である。
3) 当法人が所有する土地を、社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園の敷地として無償で貸与している。
4) 当法人と社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園と共同で福岡市の委託事業を受託しており、預り金のうち6,141,696円はしおばる保育園に分配される清算金である。

イ) 出資会社 … なし

⑦学校法人間財務取引 … なし

(3) 令和4年度の財産目録

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		7,910,181,943
1 土地	福岡市南区横手1-59他	2,785,563,894
2 建物	短期大学本館他	4,345,342,147
3 構築物	短期大学外構他	157,685,071
4 教育研究用機器備品	短期大学教研用機器備品他	171,086,938
5 図書	短期大学図書他	334,558,302
7 その他の有形固定資産	短期大学管理用機器備品他	110,441,607
8 その他の固定資産	教務システム他	5,503,984
(二) 運用財産		10,172,624,100
1 土地	福岡市南区塩原3-379他	527,587,553
2 学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3 施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	2,350,000,000
4 退職給与引当特定資産	退職金引当資金	479,301,003
5 第2号基本金引当特定資産	短期大学7, 8号館外壁改修工事 他	353,000,000
6 第3号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	250,000,000
7 長期有価証券	長期投資用債券	96,671,943
8 現金預金	当座支払資金	2,956,368,125
9 未収入金	退職金財団交付金 他	27,790,115
10 その他の資産	出資金 他	6,905,361
資 産 合 計		18,082,806,043
二 負債額		
1 固定負債		479,318,283
(1) 長期未払金	輪転機リース代	17,280
(2) 退職給与引当金	期末要支給額	479,301,003
2 流動負債		433,032,820
(1) 未払金	共済掛金他	32,604,871
(2) 前受金	入学金、入園料他	341,975,940
(3) その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	58,452,009
負 債 合 計		912,351,103
正味資産総額 (資産合計－負債合計)		17,170,454,940

(4) 決算額の推移

①資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部					
科 目	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
学生生徒等納付金収入	1,304,529	1,309,615	1,318,647	1,298,459	1,193,555
手数料収入	15,648	15,322	14,048	12,875	12,395
寄付金収入	7,722	7,822	8,602	9,192	6,984
補助金収入	370,013	370,240	509,256	527,925	494,448
資産売却収入	279,750	1,594,800	200,000	703,424	92,179
付随事業・収益事業収入	67,339	62,121	53,321	67,244	76,978
受取利息・配当金収入	36,411	51,002	41,287	35,906	31,009
雑収入	161,014	25,547	120,716	109,994	21,920
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	461,309	379,589	381,207	347,656	341,976
その他の収入	698,285	1,814,461	937,752	583,143	577,066
資金収入調整勘定	△ 602,780	△ 614,265	△ 499,589	△ 499,049	△ 375,447
前年度繰越支払資金	2,383,347	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903
収入の部合計	5,182,592	7,346,660	6,037,078	6,286,367	5,422,967

支出の部					
科 目	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
人件費支出	1,222,240	1,079,960	1,192,118	1,158,886	1,053,569
教育研究経費支出	283,812	371,306	435,985	445,938	478,634
管理経費支出	145,747	192,500	128,843	124,693	129,809
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	488	173,401	331,747	48,149	105,372
設備関係支出	11,787	42,309	59,277	44,415	55,914
資産運用支出	820,000	954,636	394,561	1,103,783	329,218
その他の支出	513,599	1,620,304	438,313	441,740	346,852
資金支出調整勘定	△ 145,485	△ 39,587	△ 33,362	△ 31,143	△ 32,769
翌年度繰越支払資金	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368
支出の部合計	5,182,592	7,346,660	6,037,078	6,286,367	5,422,967

②活動区分資金収支計算書

(単位 千円)

	科 目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動	教育活動資金収入計	1,923,926	1,789,901	2,021,033	2,009,159	1,805,570
	教育活動資金支出計	1,651,261	1,643,756	1,756,673	1,729,515	1,661,701
	差引	272,664	146,144	264,359	279,643	143,869
	調整勘定等	△ 33,731	45,448	△ 98,433	△ 25,259	75,779
	教育活動資金収支差額	238,933	191,593	165,926	254,384	219,648
施設整備等活動	施設整備等活動資金収入計	129,786	1,227,604	383,520	96,083	140,818
	施設整備等活動資金支出計	232,275	1,005,711	651,025	392,565	454,285
	差引	△ 102,489	221,892	△ 267,505	△ 296,482	△ 313,468
	調整勘定等	89,820	8,244	△ 11,961	△ 9,346	11,895
	施設整備等活動資金収支差額	△ 12,668	230,137	△ 276,466	△ 305,828	△ 301,573
	小計（教育活動+施設整備活動）	226,264	421,730	△ 113,540	△ 51,444	△ 81,925
その他の活動	その他の活動資金収入計	698,483	2,076,250	646,123	1,122,941	442,295
	その他の活動資金支出計	1,077,692	1,637,637	533,735	1,211,186	352,160
	差引	△ 379,209	438,612	112,388	△ 88,245	90,135
	調整勘定等	100,000	△ 238,918	138,918	0	△ 1,746
	その他の活動資金収支差額	△ 279,209	199,694	251,306	△ 88,245	88,389
	支払資金の増減額	△ 52,945	621,425	137,765	△ 139,689	6,465
	前年度繰越支払資金	2,383,347	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903
	翌年度繰越支払資金	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368

③事業活動収支計算書

(単位 千円)

科目			平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,304,530	1,309,615	1,318,648	1,298,460	1,193,555
		手数料	15,648	15,323	14,048	12,876	12,395
		寄付金	7,723	7,823	8,602	9,243	6,984
		經常費等補助金	368,891	369,472	505,737	511,893	493,780
		付随事業収入	67,339	62,122	53,321	67,244	76,978
		雑収入	159,795	39,382	120,679	109,497	29,101
		教育活動収入計	1,923,927	1,803,736	2,021,035	2,009,212	1,812,793
	支出	人件費	1,246,227	1,085,684	1,206,666	1,168,000	1,057,652
		教育研究経費	531,743	619,726	688,327	699,508	732,374
		(内、減価償却額)	(247,843)	(248,296)	(252,647)	(253,398)	(253,672)
		管理経費	203,615	248,983	186,488	176,208	180,660
		(内、減価償却額)	(58,305)	(56,603)	(57,946)	(51,449)	(51,366)
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	1,981,584	1,954,392	2,081,480	2,043,716	1,970,685
教育活動収支差額		▲57,658	▲150,656	▲60,445	▲34,504	▲157,892	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	36,412	51,003	41,287	35,907	31,009
		その他の教育外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	36,412	51,003	41,287	35,907	31,009
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		36,412	51,003	41,287	35,907	31,009
經常収支差額		▲21,246	▲99,654	▲19,158	1,403	▲126,884	
特別収支	収入	資産売却差額	22,605	54,333	0	1,916	450
		その他の特別収入	2,539	785	3,658	16,627	718
		特別収入計	25,144	55,118	3,658	18,543	1,168
	支出	資産処分差額	21,604	47,248	1,671	1,993	13,995
		その他の特別支出	871	11	273	11	311
		特別支出計	22,476	47,259	1,944	2,004	14,305
	特別収支差額		2,668	7,858	1,714	16,538	▲13,138
基本金組入前当年度収支差額		▲18,578	▲91,795	▲17,444	17,941	▲140,021	
基本金組入額合計		▲278,997	▲463,856	▲47,540	▲87,747	▲51,420	
当年度収支差額 (当年度消費収入(支出)超過額)		▲297,575	▲555,651	▲64,983	▲69,806	▲191,441	
前年度繰越収支差額		4,246,780	3,957,851	3,403,290	3,342,365	3,272,886	
基本金取崩額		8,646	1,091	4,058	327	5,034	
翌年度繰越収支差額		3,957,851	3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479	
(参考1)							
事業活動収入計		1,985,482	1,909,856	2,065,981	2,063,661	1,844,969	
事業活動支出計		2,004,060	2,001,651	2,083,424	2,045,721	1,984,990	
(参考2)							
經常収入計		1,960,338	1,854,738	2,062,322	2,045,119	1,843,801	
經常支出計		1,981,584	1,954,392	2,081,480	2,043,716	1,970,685	

④貸借対照表

(単位 千円)

資産の部					
科目	平成30年度 (平成31年3月31日)	平成31年度 (令和2年3月31日)	令和2年度 (令和3年3月31日)	令和3年度 (令和4年3月31日)	令和4年度 (令和5年3月31日)
固定資産	(15,803,110)	(15,154,636)	(15,048,056)	(15,156,149)	(15,095,129)
有形固定資産	< 9,784,424 >	< 8,696,055 >	< 8,780,448 >	< 8,573,704 >	< 8,430,570 >
土地	3,993,089	2,995,586	3,313,151	3,313,151	3,313,151
建物	5,080,972	4,991,580	4,753,486	4,561,383	4,345,342
構築物	198,611	204,280	192,852	178,248	157,685
教育研究用機器備品	156,316	143,367	162,683	165,694	171,086
管理用機器備品	17,939	19,172	19,162	16,410	16,859
図書	330,619	332,488	333,168	333,211	334,558
その他の有形固定資産	6,875	9,581	5,942	5,606	91,887
特定資産	< 5,676,887 >	< 6,283,776 >	< 6,178,324 >	< 6,407,437 >	< 6,557,601 >
学園拡充引当特定資産	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000
施設更新引当特定資産	1,450,000	1,750,000	1,950,000	2,150,000	2,350,000
その他の引当特定資産	1,101,887	1,408,776	1,103,324	1,132,437	1,082,601
その他の固定資産	< 341,797 >	< 174,803 >	< 89,283 >	< 175,006 >	< 106,958 >
流動資産	(2,757,482)	(3,106,801)	(3,212,824)	(3,071,794)	(2,987,676)
現金預金	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368
その他の流動資産	427,080	154,973	123,231	121,891	31,308
資産の部合計	18,560,592	18,261,437	18,260,881	18,227,944	18,082,806
負債の部					
科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定負債	(468,133)	(459,201)	(473,548)	(482,558)	(479,318)
長期未払金	1,245	424	224	120	17
退職給与引当金	466,887	458,776	473,324	482,437	479,301
流動負債	(690,684)	(492,257)	(494,796)	(434,909)	(433,032)
未払金	146,997	39,413	33,267	31,220	32,604
前受金	461,309	379,589	381,207	347,656	341,975
その他の流動負債	82,377	73,254	80,321	56,031	58,452
負債の部合計	1,158,818	951,458	968,345	917,467	912,351
純資産の部					
科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本金	(13,443,923)	(13,906,688)	(13,950,170)	(14,037,590)	(14,083,975)
第1号基本金	12,678,923	12,826,688	13,190,170	13,257,590	13,350,675
第2号基本金	385,000	700,000	380,000	400,000	353,300
第3号基本金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
第4号基本金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
繰越収支差額	(3,957,850)	(3,403,290)	(3,342,365)	(3,272,886)	(3,086,479)
翌年度繰越収支差額	3,957,850	3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479
純資産の部合計	17,401,774	17,309,979	17,292,535	17,310,476	17,170,454
負債及び純資産の部合計	18,560,592	18,261,437	18,260,881	18,227,944	18,082,806

⑤財務比率

【貸借対照表分析】

	分類	比率	計算式	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	自己資金は充実されているか（純資産の部と総資産の比較）	純資産構成比率	純資産÷（総負債+純資産）	93.8%	94.8%	94.7%	95.0%	95.0%
		繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷（総負債+純資産）	21.3%	18.6%	18.3%	18.0%	17.1%
		基本金比率	基本金÷基本金要組入額	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%
2	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	固定資産÷純資産	90.8%	87.5%	87.0%	87.6%	87.9%
		固定長期適合率	固定資産÷（純資産+固定負債）	88.4%	85.3%	84.7%	85.2%	85.5%
3	資産構成はどうか	固定資産構成比率	固定資産÷総資産	85.1%	83.0%	82.4%	83.1%	83.5%
		有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	52.7%	47.6%	48.1%	47.0%	46.6%
		特定資産構成比率	特定資産÷総資産	30.6%	34.4%	33.8%	35.2%	36.3%
		減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価格	44.6%	46.3%	48.9%	51.3%	53.6%
4	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	（運用資産－総負債）÷総資産	40.0%	46.2%	45.8%	47.2%	48.1%
		運用資産余裕比率	（運用資産－外部負債）÷経常支出	4.3	4.8	4.5	4.6	4.9
		流動比率	流動資産÷流動負債	399.2%	631.1%	649.3%	706.3%	689.9%
		前受金保有率	現金預金÷前受金	505.2%	777.6%	810.5%	848.5%	864.5%
		退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産÷退職給付引当金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
5	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債÷（総負債+純資産）	2.5%	2.5%	2.6%	2.6%	2.7%
		流動負債構成比率	流動負債÷（総負債+純資産）	3.7%	2.7%	2.7%	2.4%	2.4%
		総負債比率	総負債÷総資産	6.2%	5.2%	5.3%	5.0%	5.0%
		負債比率	総負債÷純資産	6.7%	5.5%	5.6%	5.3%	5.0%
6	運用資産の保有状況はどうか	積立率	運用資産÷要積立額	151.9%	155.0%	155.0%	150.2%	146.8%

【事業活動収支分析】

	分類	比率	計算式	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入	-0.9%	-4.8%	-0.8%	0.9%	-7.6%
2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金÷経常収入	66.6%	70.6%	63.9%	63.5%	64.7%
		寄付金比率	寄付金÷事業活動収入	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%
		経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金÷経常収入	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%
		補助金比率	補助金÷事業活動収入	18.6%	19.4%	24.6%	25.6%	26.8%
		経常費補助金比率	経常費等補助金÷経常収入	18.8%	19.9%	24.5%	25.0%	26.8%
3	支出構成は適切であるか	人件費率	人件費÷経常収入	63.6%	58.5%	58.5%	57.1%	57.4%
		教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入	27.1%	33.4%	33.4%	34.2%	39.7%
		管理経費比率	管理経費÷経常収入	10.4%	13.4%	9.0%	8.6%	9.8%
		借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		基本金組入比率	基本金組入額÷事業活動収入	14.1%	24.3%	2.3%	4.3%	2.8%
		減価償却額比率	減価償却額÷経常支出	15.5%	15.6%	14.9%	14.9%	15.5%
4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	95.5%	82.9%	91.5%	90.0%	88.6%
		基本金組入後収支比率	事業活動支出÷（事業活動収入－基本金組入額）	117.4%	138.4%	103.3%	103.5%	109.9%
		経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入	-1.1%	-5.4%	-0.9%	0.1%	-6.9%
		教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入計	-3.0%	-8.4%	-3.0%	-1.7%	-8.7%

【活動区分資金収支分析】

	分類	比率	計算式	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	教育活動でキャッシュフローが生み出しているか	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額÷教育活動資金収入計	12.4%	10.7%	8.2%	12.7%	12.2%

(5) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営状況の分析

日本私立学校振興共済事業団から出されている、「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」を使用して、学校法人山内学園の経営成績・財政状態を診断すると、B0（イエローゾーンの予備的段階）に位置する。これは、教育活動資金収支差額（教育のキャッシュフロー）は黒字で、貸借対照表上の運用資産と外部負債のバランスは学校経営を行う上で問題がない水準であるが、事業活動収支計算書の経常収支が継続的な赤字に陥っている状況にある。赤字の原因は主として、香蘭女子短期大学の学生募集の状況が芳しくなく、定員充足率を満たせないことが要因である。

② 経営上の成果と課題

令和3年度より、新たな中長期計画を策定し、2年目の計画年度となった。計画では学生・園児募集に力を入れ、収入を確保し、経費を圧縮することで経常収支の黒字化を目指すこととなったが、令和4年度は、香蘭女子短期大学部門、那珂川第二幼稚園、香蘭ファッションデザイン専門学校部門で赤字となった。特に、香蘭女子短期大学、那珂川第二幼稚園では学生募集・園児募集がより一層厳しい状況となっている。香蘭女子短期大学部門は、令和6年度の高等教育の修学支援の機関要件変更に対応して収容定員数の減員を検討している。また、那珂川第二幼稚園については令和6年度に私学助成園から施設型給付に移行して、収容定員の減員を検討することとなった。

今後の課題は、少子化の進行により、学生・園児数の総数が減少する中、選ばれる学校として、存続していくことである。

③ 今後の方針・対応方策

学生募集をより、効果的に行うことと並行して、各種補助金の獲得・寄付金の募集・投資による資産運用収入の増加を目指していく。また、予算執行の厳正化を図り、経費の削減に努める。

(6) 監査報告書

監 査 報 告 書

令和 5 年 5 月 27 日

学校法人 山内学園

理事長 坂 根 康 秀 殿

学校法人 山内学園

監事 武 部 道 孝

監事 矢ノ浦 愼祐

私たち監事は、私立学校法第 37 条 3 項及び学校法人山内学園寄附行為第 14 条の定めに基づき、令和 4 年度(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)の学校法人山内学園の業務執行状況、財産の状況及び、理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士(監査法人 北三会計社)と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

(1) 学校法人の業務若しくは財産状況又は理事の業務執行の状況は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。

(2) 資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表(付属内訳表を含む)並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上